

作成日：2005年 4月 1日

改訂日：2024年 4月 1日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名：P S 消去ペン（ポジ専用）

推奨用途：印刷用／刷版画像消去ペン

使用上の制限：推奨用途以外へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

会社名：株式会社日研化学研究所

住所：愛知県名古屋市中区栄二丁目16番1号

電話番号：052-204-0556

FAX 番号：052-204-0550

担当部署：技術部

緊急連絡先電話番号：052-503-7659

製品番号（SDS番号）：A010500_J-3

2. 危険有害性の要約（内容液）

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分 2

健康有害性

急性毒性（吸入） : 区分 3

皮膚腐食性／刺激性 : 区分 1

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : 区分 1

生殖細胞変異原性 : 区分 2

発がん性 : 区分 1B

生殖毒性 : 区分 1B

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分 1（肝臓）

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分 2（中枢神経系、全身毒性、呼吸器、心血管系）

特定標的臓器毒性（単回ばく露） : 区分 3（麻醉作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分 1（肝臓）

特定標的臓器毒性（反復ばく露） : 区分 2（血液系、神経系、呼吸器、歯、骨、肺、骨髄）

（注）記載なきGHS分類区分：該当しない/分類できない



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有毒

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ

P S 消去ペン（ポジ専用），株式会社日研化学研究所，A010500_J-3，2024/04/01

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害（肝臓）

臓器の障害のおそれ（中枢神経系、全身毒性、呼吸器、心血管系）

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（肝臓）

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（血液系、神経系、呼吸器、歯、骨、肺、骨髄）

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

取扱作業場所には、局所排気装置を設けること。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

取扱い後は手をよく洗うこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

応急措置

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚（又は髪）を水又はシャワーで洗うこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。

火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

保管

施錠して一定の場所に保管すること。

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物／容器を地方／国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報（内容液）

単一製品／混合物の区別：混合物

| 成分名 | 含有量 (%) | CAS No. | 官報公示整理番号 |
|----------------|---------|----------|----------|
| N,N-ジメチルホルムアミド | 35 | 68-12-2 | 2-680 |
| N-メチル-2-ピロリドン | 35 | 872-50-4 | 5-113 |
| 界面活性剤 | 10 - 20 | あり | あり |
| イソプロピルアルコール* | 5 | 67-63-0 | 2-207 |

P S 消去ペン（ポジ専用），株式会社日研化学研究所，A010500_J-3，2024/04/01

| | | | |
|--------|--------|-----------|-------|
| フッ化水素酸 | 3.7 | 7664-39-3 | 1-306 |
| リン酸 | < 5 ▲ | 7664-38-2 | 1-422 |
| 水 | 1 - 10 | 7732-18-5 | - |

*別名：IPA/2-プロパノール

※P R T R 法届出対象物質：N,N-ジメチルホルムアミド、N-メチル-2-ピロリドン、フッ化水素酸

▲含有量は営業上の秘密事項に該当

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚(又は髪)を水又はシャワーで洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
多量の水と石けんで洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
寸秒でも早く洗浄を始め、付着した製品を完全に洗い流す必要がある。浸透性の高い製品なので、付着した部分を微温湯で15分以上洗浄する。すぐには痛みがなく外観に変化がなくても傷害が遅れて現れることがあるので、必ず医師の診察を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
寸秒でも早く洗眼を始め、入った物質を完全に洗い流す必要がある。洗眼を始めるのが遅れると障害を増大させるおそれがある。
直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

適切な保護具を着用すること。
適切な換気を確保すること。

5. 火災時の措置

消火剤

霧状水、泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

使ってはならない消火剤

棒状の水

火災によって刺激性、有毒、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

安全に対処できるなら着火源を除去すること。
危険を避けられれば燃焼源の供給を止める。
霧状水により容器を冷却すること。
安全な距離から散水冷却して周囲の設備を保護すること。
消火水の下水への流入を防ぐこと。
消火作業は風上から行い、有毒なガスの吸入を避けること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

P S 消去ペン（ポジ専用），株式会社日研化学研究所，A010500_J-3，2024/04/01

呼吸用保護具／防火服／防災服／耐火服を着用すること。
燃焼または高温により、有毒なガス（弗化水素）が生成するので、呼吸用保護具を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

適切な保護具を着用すること。
着火源を取除くとともに換気を行うこと。
風上から作業し、風下の人を退避させること。
安全に対処できる場合は漏えいを止めること。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止すること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質（乾燥砂、土など）に吸収させて、容器に回収すること。
徐々に注水してある程度希釈した後、消石灰などの水溶液で処理し、大量の水を用いて洗い流すこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
ペンを分解しないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／その他機器を使用すること。
火花を発生させない工具を使用すること。
静電気放電に対する措置を講ずること。
適切な排気／換気設備を設けること。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
不浸透性保護手袋／保護衣／保護眼鏡／有機溶剤用防毒マスクを着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。

衛生対策

取扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

毒物に該当するので、施錠して一定の場所に保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

(避けるべき保管条件)

日光から遮断し、50℃以上の温度にばく露しないこと。
0℃以下になるような場所には保管しないこと。
強酸、強アルカリ、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避けること。
消防法危険物第四類に該当するので非危険物（可燃性液体類を除く）及び危険物（第四類を除く）と同一場所に貯蔵しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(N,N-ジメチルホルムアミド)

作業環境評価基準(1995) $\leq 10\text{ppm}$

(イソプロピルアルコール)

作業環境評価基準(2004) $\leq 200\text{ppm}$

(フッ化水素酸)

作業環境評価基準(2009) $\leq 0.5\text{ppm}$

許容濃度

(N,N-ジメチルホルムアミド)

日本産衛学会(1974) 10ppm ; $30\text{mg}/\text{m}^3$ (皮)

(N-メチル-2-ピロリドン)

日本産衛学会(2002) 1ppm ; $4\text{mg}/\text{m}^3$ (皮)

(イソプロピルアルコール)

日本産衛学会(1987) (最大値) 400ppm ; $980\text{mg}/\text{m}^3$

(フッ化水素酸)

日本産衛学会(2020) (最大値) 3ppm ; $2.5\text{mg}/\text{m}^3$ (皮)

(リン酸)

日本産衛学会(1990) $1\text{mg}/\text{m}^3$

(N,N-ジメチルホルムアミド)

ACGIH(2018) TWA: 5ppm (肝臓損傷; 眼及び上気道刺激)

(イソプロピルアルコール)

ACGIH(2001) TWA: 200ppm

STEL: 400ppm (眼及び上気道刺激; 中枢神経系障害)

(フッ化水素酸)

ACGIH(2004) TWA: 0.5ppm

STEL: 上限値 2ppm (上下気道, 皮膚及び眼刺激; フッ素症)

(リン酸)

ACGIH(1992) TWA: $1\text{mg}/\text{m}^3$

STEL: $3\text{mg}/\text{m}^3$ (上気道, 眼及び皮膚刺激)

設備対策

適切な換気のある場所で取扱うこと。

洗眼設備を設けること。

手洗い/洗顔設備を設けること。

取扱いについては局所排気装置を設置した場所で行うこと。

保護具

呼吸用保護具

有機溶剤用防毒マスクを着用すること。

手の保護具

不浸透性保護手袋を着用すること。

眼の保護具

保護眼鏡/保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質 (内容液)

P S 消去ペン（ポジ専用），株式会社日研化学研究所，A010500_J-3，2024/04/01

| | |
|-------------------|---------------------|
| 物理状態 | : 液体 |
| 色 | : 淡黄色透明 |
| 臭い | : 特有の刺激臭 |
| 融点/凝固点 | : データなし |
| 沸点又は初留点 | : 82°C(イソプロピルアルコール) |
| 沸点範囲 | : データなし |
| 可燃性(ガス、液体及び固体) | : 引火性液体 |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 | : データなし |
| 引火点 | : 12°C(イソプロピルアルコール) |
| 自然発火点 | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| pH | : 1.0未満 |
| 動粘性率 | : データなし |
| 溶解度(水に対する溶解度) | : 溶ける |
| n-オクタノール/水分配係数 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 密度及び/又は相対密度 | : データなし |
| 相対ガス密度(空気=1) | : データなし |
| 粒子特性 | : 適用外 |

10. 安定性及び反応性(内容液)

安定性

通常の保管条件/取扱条件において安定である。

危険有害反応可能性

軽金属と反応し、水素を発生することがある。

危険有害な分解生成物

加熱や燃焼により弗化水素を生じる。

11. 有害性情報(内容液)

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

(N-メチル-2-ピロリドン) rat LD50=3500mg/kg (DFGOT vol.10, 1998)

(リン酸) rat LD50=ca. 2000mg/kg (SIDS, 2011)

経皮毒性成分データ

(リン酸) rabbit LD50=1260mg/kg (85%)(100%換算値:1071 mg/kg) (SIDS, 2011)

吸入毒性成分データ

(N,N-ジメチルホルムアミド) vapor: mouse LC50=4.7mg/L/4hr (HSDB, 2005)

(リン酸) mist: rat LC50=0.9615mg/L/4hr (SIDS, 2011)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[pHに基づく分類根拠]

pH <= 2 であることから、皮膚腐食性/刺激性: 区分1に分類した。

(N,N-ジメチルホルムアミド) ヒト軽微から中等度の皮膚刺激性 (ACGIH, 2018 et al)

(N-メチル-2-ピロリドン) ヒト 軽度から中等度の一過性刺激 (SIDS, 2009)

(フッ化水素酸) 強度の皮膚刺激性又は腐食性 (PATTY 6th, 2012; EU-PAR, 2001; ATSDR, 2003)

(リン酸) ラビット 85%溶液/腐食性 (SIDS, 2011); 刺激性 I (EPA Pesticide)

眼損傷性／刺激性

[pHに基づく分類根拠]

pH <= 2 であることから、眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分1に分類した。

(N,N-ジメチルホルムアミド) ラビット 大きな水疱から48時間後には回復 (REACH登録情報, Accessed Dec. 2018)

(N-メチル-2-ピロリドン) ラビット 中等度から強度の刺激性 (DFGOT vol.10, 1998)

(イソプロピルアルコール) ラビット (PATTY 6th, 2012 et al)

(フッ化水素酸) 強度の眼刺激性 (PATTY 6th, 2012; EU-PAR, 2001; ATSDR, 2003)

(リン酸) ラビット (75-85%) 腐食性 (SIDS, 2011)

感作性

呼吸器／皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性

(N,N-ジメチルホルムアミド) cat. 2; CERI/NITE有害性評価書 No. 8, 2005

発がん性

(N,N-ジメチルホルムアミド) IARC-Gr. 2A：ヒトに対しておそらく発がん性がある

(N,N-ジメチルホルムアミド) ACGIH-A3(2018)：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

(N,N-ジメチルホルムアミド) 日本産衛学会-2A：人におそらく発がん性があると判断できる証拠が比較的十分な物質

生殖毒性

(N,N-ジメチルホルムアミド) cat. 1B; CERI/NITE有害性評価書 No. 8, 2005

(N-メチル-2-ピロリドン) cat. 1B; SIDS, 2009

(イソプロピルアルコール) cat. 2; PATTY 6th, 2012

催奇形性：データなし
特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性 単回ばく露区分1 成分データ

(N,N-ジメチルホルムアミド) 肝臓 (CERI/NITE有害性評価書 No. 8, 2005)

(イソプロピルアルコール) 中枢神経系、全身毒性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

(フッ化水素酸) 呼吸器、心血管系 (ATSDR, 2003; PATTY 6th, 2012)

(リン酸) 呼吸器 (SIDS, 2011; HSDB, 2014)

特定標的臓器毒性 単回ばく露区分2 成分データ

(N,N-ジメチルホルムアミド) 呼吸器 (CERI/NITE有害性評価書 No. 8, 2005)

特定標的臓器毒性 単回ばく露区分3 成分データ

(イソプロピルアルコール) 気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2005)

特定標的臓器毒性 単回ばく露区分3 成分データ

(N-メチル-2-ピロリドン) 麻酔作用 (CICAD 35, 2001)

特定標的臓器毒性 反復ばく露区分1 成分データ

(N,N-ジメチルホルムアミド) 肝臓 (CERI/NITE有害性評価書 No. 8, 2005)

(イソプロピルアルコール) 血液系 (EHC 103, 1990)

(フッ化水素酸) 神経系、呼吸器、歯、骨 (EU-PAR, 2001; ATSDR, 2003)

特定標的臓器毒性 反復ばく露区分2 成分データ

(N-メチル-2-ピロリドン) 神経系、肺、肝臓、骨髄 (CICAD 35, 2001)

(イソプロピルアルコール) 呼吸器、肝臓、脾臓 (EHC 103, 1990)

誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報 (内容液)
生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)

P S 消去ペン (ポジ専用), 株式会社日研化学研究所, A010500_J-3, 2024/04/01

(フッ化水素酸)

甲殻類 (ヨコエビ) EC50=73.3mg/L/96hr (フッ化ナトリウムを用いた試験結果 EC50=38.28mg-F/L/96hr から換算) (ECETOC TR91, 2003)

(リン酸)

魚類 (メダカ) LC50=75.1mg/L/96hr (SIDS, 2011)

水生環境有害性 長期(慢性)

(フッ化水素酸)

魚類 (メダカ) NOEC >=8.6mg/L/28days (フッ化ナトリウムを用いた試験結果 NOEC=9.9mg/L/28days から換算) (環境省生態影響試験, 2017)

残留性・分解性: データなし

生体蓄積性: データなし

土壤中の移動性: データなし

オゾン層への有害性: データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄方法

内容物/容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って廃棄すること。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

本製品は毒物劇物取締法で毒物に指定されるので、「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に従って適正に処理すること。

汚染容器及び包装

本製品は毒物劇物取締法で毒物に指定されるので、「毒物及び劇物の廃棄の方法に関する基準」に従って適正に処理すること。

14. 輸送上の注意 (内容液)

国連番号: 2924

品名: その他の引火性液体、腐食性

国連分類: クラス3

国連分類: 副次リスク8

容器等級: II

特別の安全対策

消防法危険物第四類に該当するので第一類及び第六類の危険物と混載しないこと。

直射日光、雨にばく露されないように運搬すること。

運搬に際しては、容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 医薬用外毒物 (弗化水素)

労働安全衛生法

特定化学物質障害予防規則 : 該当しない

P S 消去ペン（ポジ専用），株式会社日研化学研究所，A010500_J-3，2024/04/01

| | |
|----------------------|--|
| 有機溶剤中毒予防規則 | : 第二種有機溶剤等 |
| 危険物（別表第一） | : 引火性の物 |
| 健康障害防止指針（がん原性指針） | : N, N-ジメチルホルムアミド |
| がん原性物質（規則第577条の2第3項） | : N, N-ジメチルホルムアミド |
| 名称表示危険／有害物 | : N, N-ジメチルホルムアミド；N-メチル-2-ピロリドン；イソプロピルアルコール；弗化水素；リン酸 |
| 名称通知危険／有害物 | : N, N-ジメチルホルムアミド；N-メチル-2-ピロリドン；イソプロピルアルコール；弗化水素；リン酸 |
| 化学物質管理促進法（P R T R 法） | : 第一種指定化学物質 （管理番号232）N, N-ジメチルホルムアミド；35% （管理番号374）ふっ化水素及びその水溶性塩；3.7% （管理番号746）N-メチル-2-ピロリドン；35% |
| 消防法 | : 第四類 引火性液体第一石油類水溶性液体 危険等級 II |
| 化審法 | : 優先評価化学物質 （N, N-ジメチルホルムアミド；N-メチル-2-ピロリドン；イソプロピルアルコール） |

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
 IATA 航空危険物規則書 第64版（2023年）
 2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
 2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
 JIS Z 7252 : 2019
 JIS Z 7253 : 2019
 2022 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）
 Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用してください。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 令和4年度（2022年度））です。